

P・M・Aクラブ

<http://shiotafumio.com>

✉ ptcle@giga.ocn.ne.jp

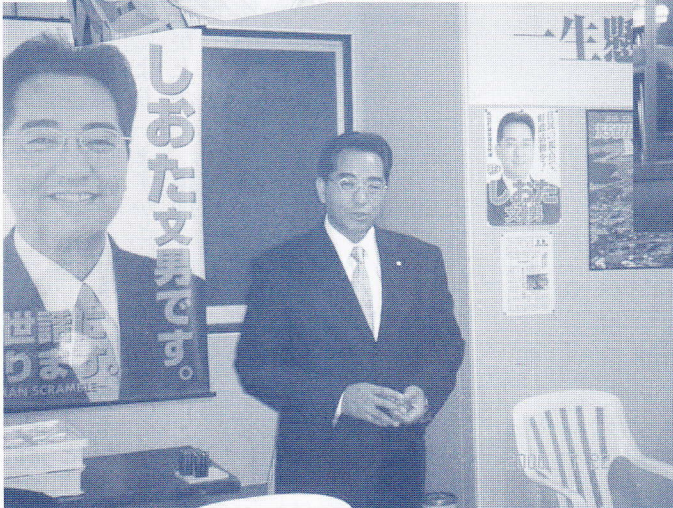
しおた文男後援会

発行日/平成18年9月
住所/築上郡築上町大字権田1671-1
発行責任者/高島 虎止
TEL/0930-57-5555

Vol. 7



6月議会



後援会事務所にて
町政報告

ごあいさつ

しおた文男



残暑厳しき折、ますます御清
祥のこととお喜び申し上げます。
ます。

早いもので当誌PMAクラ
ブも今回で7号目を発行す
る運びとなりました。誌面づ
くりも毎回、試行錯誤を重ね
ていますが、マンネリ化は否
めません。今後は皆様にとつ
て当誌が魅力あるものにな
るよう頑張つてまいります。
さて、築上町議会も先般、定
例の6月議会が開かれました。
内容につきましては後述す
るとして合併後の初の議会
選挙も来年7月に実施され
ることを考えますと議員定
数の問題は早急に決定すべ

きたと思えます。議員歳費の
削減等につながる議員の定
数減は必要不可欠なことです。
また、収入役の存続も時代の
流れに逆行するもので廃止
すべきでしょう。これらの行
財政改革をひとつひとつ実
現していくことが町議とし
ての私の使命だと痛感いた
しております。基地問題に関
しては行橋市長、そして我が
築上町長も容認の方向にな
りつつありますが十分な情
報開示と住民の納得できる
内容が求められていること
を周辺首長は認識するべき
でしょう。また、議会におい
ても十分に討議することは
言うまでもありません。
私も2期目となる町議選に
向つて日々努力していますが、
今後とも変わらぬ皆様の御支援
御支持を賜りますようお願い
申し上げます。

しおた文男の議員活動報告

平成18年6月20日(火)

一般質問

企業誘致について

(塩田文男)

企業誘致について、先日、テクノスマイルの件が、新聞にも一部取り出されました。あれはテクノスマイル側か、町長か、どちらかわかりませんが、一度、お会いすると、もしお会いしていたのであれば、その辺の話も聞きたいんですが、もしお会いしてなければ、あのおとき町長は答弁をされたように、更新はやめて、法人税の入る会社を探すという答弁でしたが、町長のお考えをもう一度、教えてください。

(新川町長)

法人税が入ればそれはそれで、契約は更新してもいいと考えております。

(塩田文男)

企業立地課について、企業立地課、これは、町長が、新しく新設されて出来た課ですが、今日までの、恐らく目ぼしい形で何か、目的があるんじゃないかと思えます。今どこまで進んできていますのか。また今回、農業公園の何ですか、企業誘致費で、道路を真つすぐするんだという案も上がってますのでお尋ねしたいと思えます。

(新川町長)

テクノスマイルとは、社長と面談いたしましたして、研修生も従業員として扱ってくれるという形になったわけでございます。

社長がすぐに、こつちの方に向いてきて、話をして、法人税割73人分を一応、従業員という形で、案分するような形で払いますというふうなことが、通知がございました。

(塩田文男)

ということ、更新はやっていくんだという形ですか。

(新川町長)

法人税割が入れば、利益によりますけど、1億円の利益が上がるとれば、それぐらいなるんじゃないかなと思えます。

(塩田文男)

町長、何遍も言わせ……、別に問題なく今までどおりの契約更新でいくということなんですよ。どうなんでしょうか。

(新川町長)

町長、何遍も言わせ……、別に問題なく今までどおりの契約更新でいくということなんですよ。どうなんでしょうか。

(塩田文男)

企業立地課について、企業立地課、これは、町長が、新しく新設されて出来た課ですが、今日までの、恐らく目ぼしい形で何か、目的があるんじゃないかと思えます。今どこまで進んできていますのか。また今回、農業公園の何ですか、企業誘致費で、道路を真つすぐするんだという案も上がってますのでお尋ねしたいと思えます。

(新川町長)

テクノスマイルとは、社長と面談いたしましたして、研修生も従業員として扱ってくれるという形になったわけでございます。

社長がすぐに、こつちの方に向いてきて、話をして、法人税割73人分を一応、従業員という形で、案分するような形で払いますというふうなことが、通知がございました。

(塩田文男)

ということ、更新はやっていくんだという形ですか。

(新川町長)

法人税割が入れば、利益によりますけど、1億円の利益が上がるとれば、それぐらいなるんじゃないかなと思えます。

お願ひしております。それがアークセス道路、入っていくときの道路で、セミトレーラーが入れますかという話があったそうなんです。現地を調査いたしました結果、やはり無理だということがあったので、誘致をされる、進出してくる企業にもよるんじゃないでしょうか。障害になるものは、取り除きたいということで、今回、その部分改良を一つ考えております。

(塩田文男)

適地の条件整備をされてるといふ形なんですけども、それ以外に、じゃ企業が来るための何か努力というものは、どこまでされてるんじゃないでしょうか。

(企業立地課長)

現在のところ、正直申しまして、目ぼしいところ、企業回りをしたいとは思っておりますが、ただ、いかんせん、まだ商品として、自信を持って売り出すものを持っておりません。

(塩田文男)

ということ、現在も、先ほども申し上げましたように、商品価値を高めたという取り組みをやっています。

(塩田文男)

築上町が、本当に企業誘致する土地が、どれだけの規模が今あるんだと。例えば、日奈古グラウンドで何平米であつて、どこまでの企業クラスを呼べるんですと。築上町が、どういった企業を呼ぶのか。目的と目標が要るんじゃないかと思えます。

(企業立地課長)

来るはずの企業が、トレーラーが入りそうもない、まあ結果、来ない企業の話を聞いて、今、道が真つすぐなる計画になっていきます。いま近隣の地方議会議員は、誰かが、企業誘致の答弁しております。今がチャンス、今が時期と思えます。町長も企業立地課を作ったわけですから、もつと食いがつた、何か町長、目標、目的、これ企業立地課の最大の目標、絶対1社呼ぶんだ、2社呼ぶんだとかいうような、そういう目標みたいなのはどつかないんですか。

(企業立地課長)

町長の方から、指示を受けておるのは、最低1社は、必ず誘致をするようにという指示を受けております。

(塩田文男)

では最後に、町長に再度、お願いというか、またしないうかというか、知れませんが、今日質問した内容、地域防災計画・AEDの件、この企業誘致の件等ついて、防犯灯はつけられないということなんです、すべてホームページに、掲載していただきたいと思えます。築上町のホームページは、やっぱりまだ寂しいものかなりあります。ほかの自治体のホームページを見ればわかるんですが、どんだん出しています。なぜ、そういうところに、企業立地課の方が、

ホームページとか、気がついていただけなのかと思えます。そういった活用を是非やっていただきたいと思えます。

(新川町長)

ホームページも本当に、私は乏しいと思つてます、実際、情報がです。

(塩田文男)

だからもうちょつとやつぱり充実した情報を流すべきだろうとは思つてますけど、何分スタッフの関係もあつたんだかなと。やはりできるだけ詳しく、敏速なホームページにするようにしたいと思えます。

(塩田文男)

町長、スタツフの関係もあるでしょうけど、築上町の職員の方々が、ホームページを更新できるとは思つておりません。築上町は多大なSE(システムエンジニア)を払つております。やればすぐ何でもできると思えます。

(塩田文男)

毎日は無理ですので、1カ月……、気持ちはあるんですけど、なかなかそれはできません。そういうことで御了承願ひたいなど。

(新川町長)

毎日は無理ですので、1カ月……、気持ちはあるんですけど、なかなかそれはできません。そういうことで御了承願ひたいなど。

(新川町長)

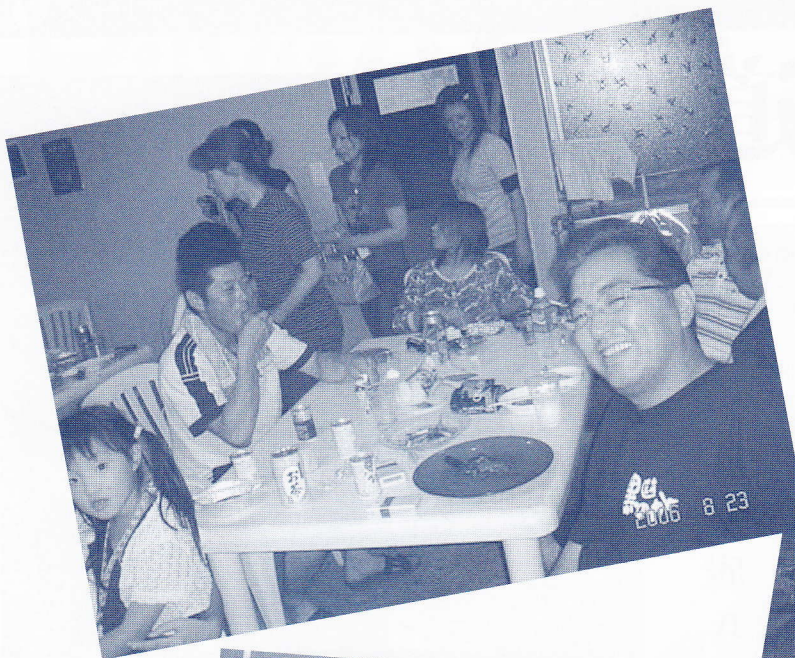
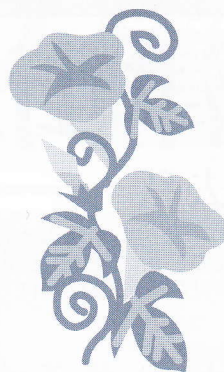
毎日は無理ですので、1カ月……、気持ちはあるんですけど、なかなかそれはできません。そういうことで御了承願ひたいなど。

(新川町長)

毎日は無理ですので、1カ月……、気持ちはあるんですけど、なかなかそれはできません。そういうことで御了承願ひたいなど。

納涼親睦会

8月23日後援会事務所にて後援者の皆様と納涼親睦会を開催いたしました。当日は焼肉パーティーで参加者全員大いに飲んで食べて大盛況でした。



一生懸命頑張ります!

来年の築上町議会選挙に向けて一生懸命頑張っています。議員定数も現在30名ですが、9月議会にて18名~20名の定数減の議案が予想されます。今後、皆様へのごあいさつの折に町政に対するご意見、ご希望を承り築上町議としての使命を果たすべく努力いたしてまいります。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



今昔・中津街道

そく てん きよ し
則天去私

『自己本位の考えを捨てて、自然の中において物事を見極めようとする姿勢。』今、我々が問われているのはお互いの立場になって相手の事を何処まで考えていける事なのか。自らに問いかけてみる時ではないでしょうか。



本庄の雪穴

内野東庵 氏とうあんし

世界中の紛争が安易に解決する兆しも見えないなか、何時の時代もあらゆる地域でつらい立場にある人達と立ち向かうとする人達。近頃TVで目に映ったアフガニスタンの辺境で活躍する福岡県出身の「中村 哲」氏の行動を目にして何か感じられずにはいられないと言ったのが本音です。医師でありながら千の井戸を掘り用水

路を拓く、『辺境で診る辺境から見る』の書籍・そしてサブタイトルの“時代の本流を尻目に黙々と歩む一医師、その果敢な思考と実践の軌跡”からも同氏の生き様が垣間見える気がします。余談ですが中村哲氏が、TVでもよく目にする北九州市出身の榊添要一参議院議員の父と政治で争った人物を父に持ち、同じく北九州市若松区出身、兵隊三部作・花と龍などを生み出した芥川賞受賞作家・火野葦平が祖父というのはあまり知られていません。前置きが長くなりましたが、新聞紙面で『内野東庵とその一族』の書籍発表を目にしたものの、忙しさにまかして時間が流れ、今昔・中津街道で城井宇都宮氏の史跡を訪ねている最中に“雪穴”(せつけつ)の案内板が忘れかけていた内野東庵との再会をさせてくれました。

早速書籍に目を通してみると、築上町にも医師でありながら本業はもとより書画などでも浄財を集めて龍神路の拡幅や萱切トンネルの掘削、鉾立トンネルの掘削計画、そして殖産興業などで人々が豊かになることを念頭に活躍した人物である事がわかり誇りに思うと同時に嬉しい限りでした。飢餓に悩まされた時代、旧椎田町に筋奉行の延塚右衛門がいて、その後内野東庵が旧築城町に誕生したというのも何かの縁を感じると言わざるを得ないと思うばかりです。時代は流れ、ある意味では情報が飛び交い便利が良くなったとも言われる現代、しかし医療や福祉の上では老年者控除の廃止、住民税の増税や知的障害者の自立支援法の個人負担等々、弱者が重たいものを背負わされていると言っても過言ではないと感じます。このような状

況の中で我々地方議会議員がしなければいけないことは、何時の時代でも弱者の為に何ができるのかと言う事を考えさせられるばかりです。中津街道の古くからの資料を検索するなかで古き時代の人達の知恵や素晴らしい足跡を発見することが多くあります。歴史をふりかえり先人の教えに学ぶことの大切さを感じ、その教えを現在にも通じるものとしてとらえ生かしていくことも重要なことだと思います。

編集後記

今年の梅雨は各地で多くの水害をもたらしましたが、築上町においては特に大きな被害もなかつた。しかし、天災は思いもかけずやってくるものです。危険箇所のチェックや救護体制等は日頃から万全のそなえが必要だと思えます。町議として住民の安全と安心について再認識しました。(S)